

尼崎闘争に参加して

四月二十二日にJR尼崎駅前で行われた尼崎脱線事故の集会に参加して参りました。

まず初めに呼びかけ団体挨拶として動労千葉の大竹副委員長から挨拶がありました。

動労千葉の大竹副委員長



近畿支部長の原田さんから基調報告として、戦争・改憲の先兵!!「第三の分割民営化と闘おう」のテーマの中で、国鉄分割・民営化から三十一年、JR

東日本は東労組を解体することもい、第三の分割・民営化攻撃に本格的に乗り出し、JR西日本でも、昨年十二月の新幹線台車亀裂事故で、尼崎事故の時と全く同じ安全破壊が

突き出されました。尼崎事故にもかかわらず、全く教訓化されてないどころか、安全破壊の根源である民営化・外注化・非

正規化を大々的に推し進めようとしています。「戦争・改憲のための労働運動解体」こそ、最大の狙いです。戦争のためなら安全などどうでもいいと思うJRを労働運動の力で打倒しよう!とありました。

その後、全国の動労総連合の各単組から挨拶があり動労水戸、動労福島、動労総連合新潟、動労北陸、動労西日本、動労九州の代表の方たちが挨拶されました。

最後に全国金属機械港合同から、我が支部の委員長が発言し「一〇七名の命を一瞬に奪った尼崎事故から十三年、国鉄闘争を労働組合が闘うのか否か、これが私たちに絶えず突きつけられてきた課題だと思います。だか

れども、決意表明では、スラブ主、関西合同労組、広島連帯ユニオン、高槻医療福祉労組、八尾北労組、



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう!



らこそ私たちは、動労千葉の闘いをはじめ国鉄闘争に連帯して、国鉄一〇四七名解雇撤回闘争を解体しようとする攻撃に国鉄闘争全国運動を立ち上げ、全国の仲間と共に闘う結集軸になっていく決意です」とありました。

その後まとめと団結力ンバローがあり集会を終えました。



事故現場横を通るデモ隊

その後の約三〇分くらいいのデモでは、JR尼崎駅を出発し、事故現場を経由し、事故現場付近の公園まで行きました。

デモ後の解散集会では動労千葉の方からまとめがありガンバロー三唱して終わりました。

昌一金属支部
T

死亡弔慰金	被共済者	病気等重度障害	30,000
		不慮の事故等	40,000
		重度障害見舞金	30,000
		配偶者	20,000
		子	10,000
	親		3,000
住宅災害見舞金	火災等	(火災・破裂・爆発・車両の衝突・航空機の墜落等)	100,000
		風水害等 (雪害・床上浸水含む)	30,000
		地震等 (津波・噴火含む)	10,000
	同居親族の死亡(1名につき)		10,000
	休業7日以上		2,000
病床見舞金	休業14日以上(累計)		4,000
	休業30日以上(累計)		6,000
	休業90日以上(累計)		9,000
	休業120日以上(累計)		12,000
	結婚祝い金		8,000
就学祝金	銀婚祝い金(結婚25年目)		5,000
	出生祝い金		3,000
	子の小学校入学		2,000
	子の中学校入学		2,000
	子の高校入学		2,000
	子の大学入学		2,000

港合同「慶弔共済」のお知らせ

左の表を、自分と家族のことを思い浮かべながら、よく見てください。
とりわけ「春」です。この季節は各々入学式のシーズンでもあります。
該当する項目があれば、直ちに港合同事務局まで連絡をしていただき、用紙をもらって手続きをお願いします。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！